

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	2204 資源化ごみ処理及び施設維持管理事業	会計	01	一般会計
		款	04	衛生費
		項	02	清掃費
基本 施策	24 ごみを減らす生活を送る	目	02	塵芥処理費
		細目	264	資源化ごみ処理及び施設維持管理経費
行革大綱の重点事項番号		細々目	51	資源化ごみ処理及び施設維持管理経費
担当部課	コード	100800		担当者 氏名
	名称	清掃事業課(さくらリサイクルセンター)		
			連絡先	20 - 9272 (内線)
大鷲真弘				

事務事業の概要(Plan)

【全体事業計画】	
対象(誰を、何を)	資源化ごみ ※対象件数
成果(どうする)	資源化ごみのリサイクルをする
根拠法令・要綱等	
開始年度	平成 22 年度
終了年度	平成 年度
関連事業	
事業概要	・さくらリサイクルセンター資源化ごみ処理施設の維持管理 (金属類の破碎処理、ペットボトル・アルミ缶・容器包装プラスチックの圧縮梱包、びんの色選別処理、処理困難物の処理・不燃性廃棄物の埋立て処分)

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)		運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)	
1 建設用地		1 運営主体	民間委託等
2 建設面積		2 配置(予定)人員	10 人
3 規模・構造		3 年間運営費(見込)	55,300 千円
4 総事業費	千円	4 年間収入(見込)	27,548 千円
		5 市内の類似施設	

【検証指標】							
活動指標	指標名	単位	現状値	目標値			
	資源化ごみ処理量	t		H21	H22	H23	H24
					5,060	5,060	5,060

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	現状値	目標値			
	資源化ごみの再資源化率	搬入ごみに対する再資源化の割合	%	H21	H22	H23	H24	
					72	72	72	

【投入コスト】		H22 所要額	H23 所要額	H24 所要額	H25 所要額
投入 コスト	直接事業費計(A)	(千円) 105,641	(千円) 111,782	(千円) 130,000	(千円) 130,000
	Aの 財源 内訳				
	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	105,641	111,782	130,000	130,000
事業投入人件費(B)	4.7人 33,840	4.0人 28,800	4.0人 28,800	4.0人 28,800	
フルコスト(A)+(B)	139,481	140,582	158,800	158,800	

【事務事業企画の背景、状況変化見通し、市民意見等】
この事務事業を新たに企画した背景は何か？
しらすぎクリーンセンターの老朽化に伴い建設した施設
この事務事業を取り巻く状況(対象や根拠法令等)は、今後どのように変化していくか？(見通し)
地球温暖化防止からなお一層のリサイクルが求められる
この事務事業に対して関係者からどのような意見や要望が寄せられているか？
本事務事業は、どのような状態になれば完了とみなす(休止・廃止となる)か？また、その目安はおおよそ何年後か？
施設の耐用年数が経過し老朽したとき 15年後

【事前評価】		該当項目に○をつけてください。	
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	<input type="radio"/>	【特記事項】
	個人のみだけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	<input type="radio"/>	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	<input type="radio"/>	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	<input type="radio"/>	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	<input type="radio"/>	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	<input type="radio"/>	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事務事業	<input type="radio"/>	
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	<input type="radio"/>	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	<input type="radio"/>	
	有効性	事務事業を実施しない場合の市民への影響は大きい。	<input type="radio"/>
基本施策の目的を実現するために事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高い。		<input type="radio"/>	【根拠】
社会経済情勢・市民ニーズなどから、緊急性は高い。		<input type="radio"/>	【直ちに着手・実施しなければならない(先延ばしできない)理由】
効率性	事務事業の対象・成果の設定は妥当である。	<input type="radio"/>	【根拠】
	事業費や整備後の管理経費の算定にあたって、コスト削減策を考えている。また、将来のコスト増要因について対策を考えている。	<input type="radio"/>	【具体的内容】
	受益と負担の公平性が考慮されている。	<input type="radio"/>	【根拠】
	本事務事業と類似の目的・手段をもつ事業がある。	<input type="radio"/>	【事業名称 今後どのように連携して成果向上を図るか】
4	本事務事業の企画に際して、代替案を検討した。	<input type="radio"/>	【比較検討結果】
	本事務事業の実施にあたって、廃止又は統合する事業がある。	<input type="radio"/>	【事業名及び削減される一般財源額】
	コストに見合った効果が見込める。	<input type="radio"/>	【根拠】
	将来的に民間等への移管が可能である。	<input type="radio"/>	【いつごろ】

担当課長氏名	事業実施に対する担当課長の意見
馬場幸雄	資源化ごみのリサイクルを推進と効率のよい運営に努めたい。